

お釈迦さま



道元さま

曹洞宗は、

お釈迦さまと道元禅師・瑩山禅師を

一仏兩祖として仰ぎます。

しょうごう

聖号

南無本師釈迦如来



QRコードを読み込むとお唱えの一部を聴くことができます。

— 仏さまからのメッセージ —

人は幸せを願って生きています。しかし、誰しも悩み、悲しみ、苦しみを体験しない人はいないでしょう。そうした時に心を支えてくれるのが、梅花流詠讃歌です。その歌詞には私たちが安らぎの世界へと導いてくださる仏さまの教え、想いが示されています。

ばいかりゅうえいさんか そうとうしゅう えいか ぶっさんか
梅花流詠讃歌は曹洞宗のご詠歌(仏讃歌)です

問い合わせは、曹洞宗宗務庁伝道部詠道課まで。

03-3454-5416

<http://www.sotozen-net.or.jp/>



ばいかくん



梅花流詠讃歌



無常御和讃
追善供養御和讃



曹洞宗

無常御和讃

むじょうご わさん

(一) 人の此の世の儚きは

冥路に急ぐ露の身の

暫し仮寝の旅枕

あわれ常なき世なりけり

(二) 昨日の人は今日はなく

会えば別るる世のならい

夜半のあらしに散る花の

もろきは人の命なり

(三) おくれ先だつことあれど

往きて帰らぬ旅ぞかし

此の身此の世に救わずば

何れの世にか救うべき

(四) 露のひぬ間もつかの間も

励みて積みよ善根を

山の高根に咲く花は

永劫かけて香るべし



追善供養御和讃

ついでんくようご わさん

(一) 玉とむすびて蓮葉に

おきたる露の一雫

ながきは人の願ひにて

短きものは命なり

(二) 昨日ありしは今日は夢

うつつに見ゆるみ姿は

心のなかの影にして

合わせる掌こそ真なる

(三) み名を静かに唱うれば

おもいはさらにいやましぬ

おのずとにじむ涙にも

縁の深きゆえを知る

(四) 供う花々映えわたり

真心明けき御灯明と

まいらす香につつまれて

御霊よ永久に安らわん

